

主编 汤重南

日俄战争史料

9

綫装書局

主编 汤重南

(第九册)

日俄战争史料

线装书局

第九册

第一卷 戰役開始前諸情報關聯新聞紀事抄出 早稻田大學……………一

第二卷 仁川海戰 旅順海戰 旅順攻圍關聯新聞紀事索引 早稻田大學……………二四九

戰役開始前諸情報關聯新聞紀事抄出

第一卷

早稻田大學

戰役開始前諸情報
關之新聞記事抄出

日露戰役史料 第一卷

早稻田大學

戰事前諸狀報

東京日々新聞所載

目次

- 一、極東問題（英國各新聞記事）
- 一、露國新軍，日露陸軍評
- 一、露俄同盟，錄（ノロウオエ、ウレミヤ紙所載）
- 一、露人，日本觀（同上）
- 一、日露交涉事件（ノロウオエ、ウレミヤ紙所載）
- 一、三國干涉，管將（倫敦泰晤士報）
- 一、露國，對清政策（ノロウオエ、ウレミヤ紙所載）
- 一、日露鐵路，聯防（エバクサーター）
- 一、英國，地位（同上）
- 一、露時，滿洲併吞論（ノロウオエ、ウレミヤ紙所載）
- 一、露人，極東問題（同上）

一、極東問題ニ對する日本ノ地位（モロシング、ボースト）
一日露國戰前ノ戦局（倫敦タイムズ）
一日露外交ノ秘密

極東問題

近着ノ美国新聞ヲ見ルニ日露間ノ問題又喧レケ
去月十二日次露国ガ馬山浦(龍巖浦)ノ事ナリシヲ
台領シ又日本ハ露国ノ朝鮮ヲ手合セシトノ提議
ニ對シテ最終ノ通牒ヲ聖彼得堡ニ送りタリトノ
電報傳教ニ達シテ新聞界ノ大注意ヲ惹キ各新聞
ハ急ギ社員ヲ日本公使館ニ送りテ其事存ヲ質サ
シノタリ林公使ガ中央通信社員ニ答一タリトイ
フモノヲ見ルニ公使ハ最終通告ヲ送レリトイフ
報道ヲ排斥シテ且曰ク

若シ然ル事アラバ日美間高ノ趣意ニ從テ年ハ
先ハ帝國政府ヨリ通報ニ接スベキ筈ナレ共

ノ事ナシ但シ余ハ本国政府ヨリ通報ニ接シ居
ルニ其レハ左様ノ性質ノ物ニアラズ日露間ノ
開戦ハ勝敗如何ヲ問ハズ西国ニ取テ其ノ一大
損害ニシテ諸ヲ避リハキモノケリ但シ事件益
々急ヲ告グルノ場合ニハ日本ハ英米ニ能動的
同情ヲ有スルニ至ルバキヲ期スルモノナリ日
米西国ハ年来提携ヲ今又善ク相知リ相解セリ
露国ハ滿州ヲ撤退セザルハ英米ニ於ケルが如
ク日本ニ於テハ民困憤懣ノ情アリ而シテ日本
ニ於テ主戦派ノ意見ハ固キ事ノ上ニ何程ノ勢力
ヲ有スルハカ余ハ断言スル能ハカハ所ナシ此
天皇陛下ハ何レノ場合にハ常ニ國内ノ

東洋の繁栄をうらん云々

聖朝(十月十三日)、タイムスハ社説ヲ草シテ此ノ
問題ヲ論じ莫國ノ無節的同情ニ就テハ直接ニ答
及スルヲキテ事無シ、十令重大ナルヲ認メテ朝鮮
ノ領土保全ニ所カニテ其侵害スルニ至ラハ日
本ハ之ヲ用兵シ現由トストニテ矢當トセザン旨ヲ
説キタリ今其要旨ヲ摘メハ先ヅ日露交渉ノ涉々
シカラスヤシテ談判ノ地ヲ東京ニ遷シタルノ矢
策ナルヲ諒スル日、

近頃日露千係ニ関スル風説ハ概テ誇張捏造ノ
跡アルニ事無キニ至ラシムルモノアリヤンハ疑フ
べカラズ日露同ノ交渉が今日マデ甚ダ難都合

と運ビ居ラザんヲ競クイ極リ美國ノミコアラ
ナルナリ西國交渉ノ基ニ露國ノ近時朝鮮殊ニ
鴨綠江畔ニ旅ケル行部及ハ滿州占欲ノ繼續ヲ
想ハシムル行爲ニ在リ日本カ此ノヲ露國政府
ニ照會提議スル所アリシハ八月下旬ニシテ爾
來數週露國ハ曖昧模稜ヲアセテ引延ビガシ
トセリ蓋シ露國ハ時日ヲ遷延スルノ利アルヲ
見ん場合コイ毎々其手飯ヲ執ンモノナリ近
日南滿一地ヲ東京ニ移シタリ民衆變遷ハ度シ
テ凶微候ト認ムンヲ得ガハナリ南滿ノ聖彼得
堡ニ行ハ、間ハ近々露國皇帝ノ眼下ニアリ露
國ノ平和ヲ喪スハニ切實ナリハ輔弼大臣中ノ

主戰派、志望ヲ抑制スルニ於テ、今ノ對アハ
ヲ想ハシムルニ、其地既ニ極東ニ移レバ、露帝、
慮ヲ示シテ、折制スルノ勢カヲ減ズ、且交渉ノ
議ニ参リ、其案件ノ決定ニ與リテ大ニ力アハス
ノハ、露國侵畧派ノ首領、其人ニ外イラザンナリ
國ヲリ、最後ノ斷ヲ與フルハ、皇帝ニ在ルニ、抑カ
ス豫備交渉ノ意氣込リ、定メ、又皇帝ノ取テ以テ
斷スル所ノ發議ハ、其等ノ首領、即チアレクシ
フ、大守及バハロフ、公使等ニ成ルモノナリ、大守ノ
權力上ヲ動カスノ大ニシテ、且雄圖ヲ懷クノ士
其地位ニ在ルニ、~~露~~ニ何ゾ其謀仰懷重リ望マシ
ヤアレキシ、一フ、大守ハ清帝ヲ助ケ、彈壓ヲ擴張

不レリ然レテ滿州会係ノ策ヲ立テ以テ其た
 縣ヲ得タルモノナリアレタレトガ更ニ一歩
 ヲ進メテ滿州ニ行ハ所ヨ朝鮮ニ施サント云フ
 又豈經フトセシヤ其朝鮮ニ於ケル即チ顧問ト
 ミテ才略相讓ラザンバワロフ氏アリアレキ
 ミーフガ滿州ニ有テ遼東ヲ占スルノ道ヲ開
 キタルモノ即當時ノ駐清代表公使バロワ
 フ氏ノ外交手腕ナリ而シテ今此朝鮮ニ公使ト
 リ則チ露友接ノバロワフ氏及アレクシール
 太守ノ掌握ニ存スルニ於テ其ノ動スルハ平
 和ノ道ニ利アラザルヲ見ルハ怪シムニ足ラザ
 ルナリ